



雪 山

演 劇 祭

2 0 2 5



gingaku.com

雪の演劇祭、5年ぶりの開催。 可能性を秘めた若者たちが 西和賀で演劇をつくり上演する 銀河ホールの10日間。

岩手県西和賀町で2012年に始まった合宿プログラム《ギンガク》。新型コロナ禍とホールの設備改修による5年のブランクを経て、演劇合宿「雪の演劇祭2025」を開催します。今回のテーマは「コメディ作品の制作と上演」。観客を笑いによって楽しませる舞台づくりに、山形、東京、そして岩手県内から参加する3団体が取り組みます。



フラヌール | 山形

『奥水町町制施行150周年記念講演』

作・演出 | 佐藤瑞樹 出演 | 田中克典 音響 | 高野篤

劇場での上演という状況を使って、講演がもつ「話し手」と「聞き手」の不均衡な関係の危うさに「笑い」のテーマを絡め、批判的に取り扱うことができないか、というところからスタートしました。チェーホフ『煙草の害について』を参照しながら、一人芝居の可能性を探る作品です。

〔フラヌール〕2024年、第一回公演『海へ向かう』で旗揚げ。離れた人や土地に思いを馳せながら、(いま・ここ)で生きる私たちの生が肯定される作品づくりを目指して活動中。劇場の空間や、作品内の時間が多重化されるような観劇体験が好評を博している(と思いたい)。



劇団ヨーン | 東京

『グラスウール』

作・演出 | 半田大介(劇団ヨーン/つちともっぶ)

出演 | 鶴飼彩都(劇団ヨーン) 大島康彰 丑野つらみ ヒラザワタケル(つちともっぶ) 生埜東子

「家がなくなった。というか、売った。」売ったらすっきりして、外に出た。見知らぬ景色に映るのは、肌にこびりつくガラス繊維の綿くずらしい。売ったり、売られたりする人間を滑稽に描きそうな予感です。宜しくお願い致します。

〔劇団ヨーン〕ENBUゼミナールで出会った、劇作家・演出家・俳優の半田大介と、俳優・ダンサーの鶴飼彩都が立ち上げた団体。やりたいことがたくさんある2人が、毎回「テーマ」とにらめっこし、場所や空間を生かした作品を発表する。



県南合同チーム だべんじゃーず | 北上・一関

『なさねばならぬ』

作・演出 | 佐々木玲奈(演劇ユニットせのび) 出演 | 宇津志理桜 村上裕次郎

時間がほしい。作品を作る時間。その前に、本腰を入れるための時間。本腰を入れるために全部辞めて一旦逃げる時間もほしい。一旦逃げて、それでもやりたかったら戻ってきます。そしたら本腰入れてやりましょう。私はやりません。勘弁してください。

〔だべんじゃーず〕岩手県南地区からの参加者で結成された即席合同チーム。チーム名の由来は「駄弁」(くだらないおしゃべり)と、方言「~だべ」、アベンジャーズから。無意味でくだらないことの中に面白さを見出し、悲しみ苦しむ人々を笑いによって救いたい。

運営スタッフ参加 | 立原茉奈 衣舞優 小野智明 笹川幸男(リモート・サポート)

2025年3月1日(土) 13:30 開場 14:00 開演

一般 1,000円 高校生以下 無料

〔インターネット〕右記コードからアクセスし、申込フォームに入力・送信
〔電話〕0197-82-3240 (西和賀町文化創造館/9:00~17:00)



〔主催〕西和賀町 西和賀町文化創造館 〔企画運営〕一般社団法人ギンガク
〔協力〕ユキノチカラプロジェクト協議会 NISHIWAGA STYLE てくてく
〔後援〕湯田温泉峡旅館組合 西和賀町観光協会 西和賀町芸術文化協会 劇団どう座



西和賀町文化創造館 銀河ホール

〒029-5511 岩手県和賀郡西和賀町上野々39地割195番地2
Tel: 0197-82-3240 Fax: 0197-82-2883 ginkaku.com
JR北上線「ほっとゆだ駅」より徒歩4分 | 秋田自動車道「湯田I.C.」より車で8分

雪の
演劇祭

2025

2025.02.22.sat
-2025.03.03.mon

Residency
in Nishiwaga
for production
and performance



ginkaku.com